2019 年度　部局 FD 活動報告

生命環境科学域（理学類を除く）

1.　FD 活動の実施体制、取り組みの概要
・　生命環境科学域では、「授業振り返り（授業アンケート）」への教員コメントの入力を推進した。 ・　応用生命科学類では、障がいのある学生からの修学上の支援要請を受け、授業担当教員間での情報共有等の適切な対応を行った。 ・　応用生命科学類では、内部質保証スタートアップ支援事業（ベネッセ i-キャリア GPS アカデミック）を学域生 1〜3 回生を対象に行った。 ・　応用生命科学類では、ベネッセ i-キャリア GPS アカデミックの調査結果を取りまとめ、年度内中間報告を行った。 ・　学域在学生（1〜3 回生）の学期ごとの単位修得状況を保証人へ連絡するとともに、成績を把握することで学生に対する個別指導に役立てた。 ・　植物バイオサイエンス課程では教員のプレゼンテーション能力向上支援を目指し、オープンセミナーを 5 回実施した。 ・　生命機能化学課程では、複数の講義で独自に授業内容に関する学生へのアンケート調査を実施した。 ・　緑地環境科学類では、複数の講義で独自に授業内容に関する学生へのアンケート調査を実施した。 ・　緑地環境科学類では、実習・演習科目に関わる WG を設置し、実習書の作成・改訂や採点評価方法の検討、レポートの作成を中心とする実習指導に関する留意点などの検討会を行った。 ・　獣医学類では、新任教員着任後にこれまでの研究業績についての発表会を開催した。 ・　獣医学類では、EAEVE 認証をすでに取得した帯広畜産大学より中心的な役割を担っておられた富張先生をお招きし、取得までの過程についての講演会を実施した。教育改革準備委員会において EAEVE 認証取得のために本学において不足していると思われる要件を検討した。 ・　獣医学類では、著名な研究者を招聘し、獣医学専攻教員のスキル向上のための集談会を実施した。 ・　獣医学類では、大学基準協会による獣医学教育に対する評価を受審するための評価資料を作成した。 ・　獣医学類では、平成 29 年度から始まった獣医学共用試験に向けた臨床基礎実習において、より充実した実習にすべく振り返りミーティングを担当教員全員で行った。また実習に協力してもらう「飼い主役」の方々（クライアント）を含めた、クライアント研修も実施した。 ・　獣医学類では、獣医臨床センターの教員ならびにスタッフの、飼い主様への対応を向上させるための研修を開催した。

2.　FD に関する講演会、セミナー、ワークショップの開催状況			
開催日	内容（タイトル）	種別	参加者数

2019 年 4 月 4 日	新任教員 FD 研修	研修	1 名
2019 年 6 月 6 日	極性をもったシグナルモジュールが細胞外バリアを局所的に作り出す (遺伝学研究所 藤田智史)	セミナー	8 名
2019 年 7 月 3 日	2019 年度 安全管理講演会「安全意識の育て方～産業現場の労災事例から考える安全管理の基本とリーダーにできること～」（伊丹匡哉・伊丹社会保険労務士事務所）	講演会	1 名
2019 年 7 月 5 日	授業デザイン研修 I	研修	1 名
2019 年 7 月 26 日	新任教員研究発表会	セミナー	28 名
2019 年 8 月 29 日	著作権セミナー「入試問題と著作権」	セミナー	3 名
2019 年 9 月 24 日	イネのアルミニウム耐性機構とイネ科植物におけるバリエーション　(岡山大学 資源植物科学研究所 山地直樹)	セミナー	8 名
2019 年 9 月 27 日	飼い主様対応スキルアップ基礎研修プログラム	研修	20 名
2019 年 10 月 10 日	シロイヌナズナにおけるクラスリン被覆小胞アダプタータンパク質の機能解析(大阪府立大学　室啓太)	セミナー	6 名
2019 年 11 月 14 日	国際認証（EAEVE)取得にむけた帯広畜産大学の取り組み	講演会	30 名
2019 年 11 月 19 日	How to improve English proficiency for bioscience? (Naoyuki Ochiai, Ph.D., Academic Editing & Translation Services)	セミナー	8 名
2019 年 11 月 26 日	「知のバリアフリーを目指して～教育の質保証・成績評価と合理的配慮について～」(京都大学 舩越高樹)	セミナー	4 名
2019 年 12 月 6 日	2019 年度 第 2 回「授業デザイン研修 I」	研修	1 名
2019 年 12 月 11 日	内耳有毛細胞の機械的シグナル伝達に関わる TMC タンパク質の機能解析(大阪府立大学　趙一夢)	セミナー	8 名
2019 年 12 月 13 日	セミナー「発達障がいを抱える学生をどう理解し、どう支援するのか」	セミナー	2 名
2019 年 12 月 13 日	有機化学研究会（白鷺セミナー）第 87 回講演会（有村源一郎・東理大基礎工、塩﨑真・JT、岩	セミナー	2 名

	渕好治・東北大薬）		
2019 年 12 月 23 日	FD セミナー「国際基督教大学の多様な入試」（国際基督教大学久保謙哉、国際基督教大学川合直之）	セミナー	35 名
2020 年 1 月 9 日	バイオマテリアル技術からみた再生医療の最先端（田畑康彦・京大ウイルス・再生医科学研究所教授）	講演会	26 名
2020 年 1 月 10 日	2019 年度第 1 回教育の内部質保証に関するセミナー「ルーブリックの内部質保証への応用～ルーブリックとは？評価方法とは？～」(京都橘大学 西野毅朗)	セミナー	2 名

3. FD に関する会議、委員会の開催状況

会議・委員会名	内容	回数	委員数
応用生命科学類 教育の内部質保証スタートアップ支援事業の実施委員会	GPS-Academic アセスメントテストの結果についてベネッセの担当者から解説を受けた。	1 回	14 名
植物バイオサイエンス課程会議	GPS-Academic によるアセスメントテストの結果を分析し、カリキュラム改善へ生かすために議論した。	1 回	22 名
生命環境科学域教育運営委員会	学域教務に関する協議・報告	5 回	11 名
生命機能化学課程教員会議	毎月 1 回の割合で課程内での学生指導における情報を共有	12 回	22 名
生命機能化学課程教授会議	新大学における新学科教育課程案の検討	10 回	8 名
緑地環境科学類実習演習検討 WG	・ 実習書の改訂と実習プログラムの見直し ・ 社会要請に鑑みた実習内容の見直し ・ 実習演習テーマと評価基準の検討およびレポート採点における意思統一など	7 回	13 名
医療面接・振り返りミーティング	医療面接の内容を充実するため実施内容を振り返った	4 回	のべ 80 名
教育改革準備委員会	EAEVE 取得のために必要な要件を洗い出すために担当部門ごとに会議を開催した	3 回	8 名
獣医学教育の内部保証に関す	大学基準協会による獣医学教育に対す	8 回	8 名

る委員会	る評価を受けるための資料を作成した		

4. FD 活動への各教員の参加状況

※ 前項のセミナー・委員会等への参加の他、教授会後に実施している勉強会等への出席や、分野内で成績分布について確認・検討する機会を設けている場合なども含みます。

教員数（実数）	102／113 人中

5. ピア授業参観実施状況

期間	公開授業数	参観者数	特記事項
前期			
後期			
年度 合計	0	0	

6. その他取り組みの具体的実施状況

・ 緑地環境科学類 : 植物形態分類学（回答数 47/56、回収率 84%）、水理学（回答数 53/53 件、回収率 100%）、水環境管理学（回答数 19/19 件、回収率 100%）、緑地環境科学入門演習（回答数 51/51 件、回収率 100%）